

兵庫駅北側エリアの再整備 基本方針

神戸市建設局駅前魅力創造課

2023年10月

再整備の背景

兵庫駅周辺の特徴

JR 兵庫駅は大輪田泊や平清盛、西国街道など市内でも有数の古い歴史と伝統を持つエリアにあり、駅周辺には史跡や寺社仏閣、兵庫運河などの観光資源が立地しています。その一方で、住商共存の居住エリアとして JR 神戸線の快速が停車する駅であり、通勤通学で利用されている市民も多い兵庫区を代表する駅の1つですが、かつての活気や賑わいが薄れてきているのが実情です。

兵庫駅北側広場が抱える2つの課題

01 公共空間の利活用や景観の課題

タクシープールと駐輪場が広場の大部分を占め、歩行者が快適に滞留できる空間が少ない

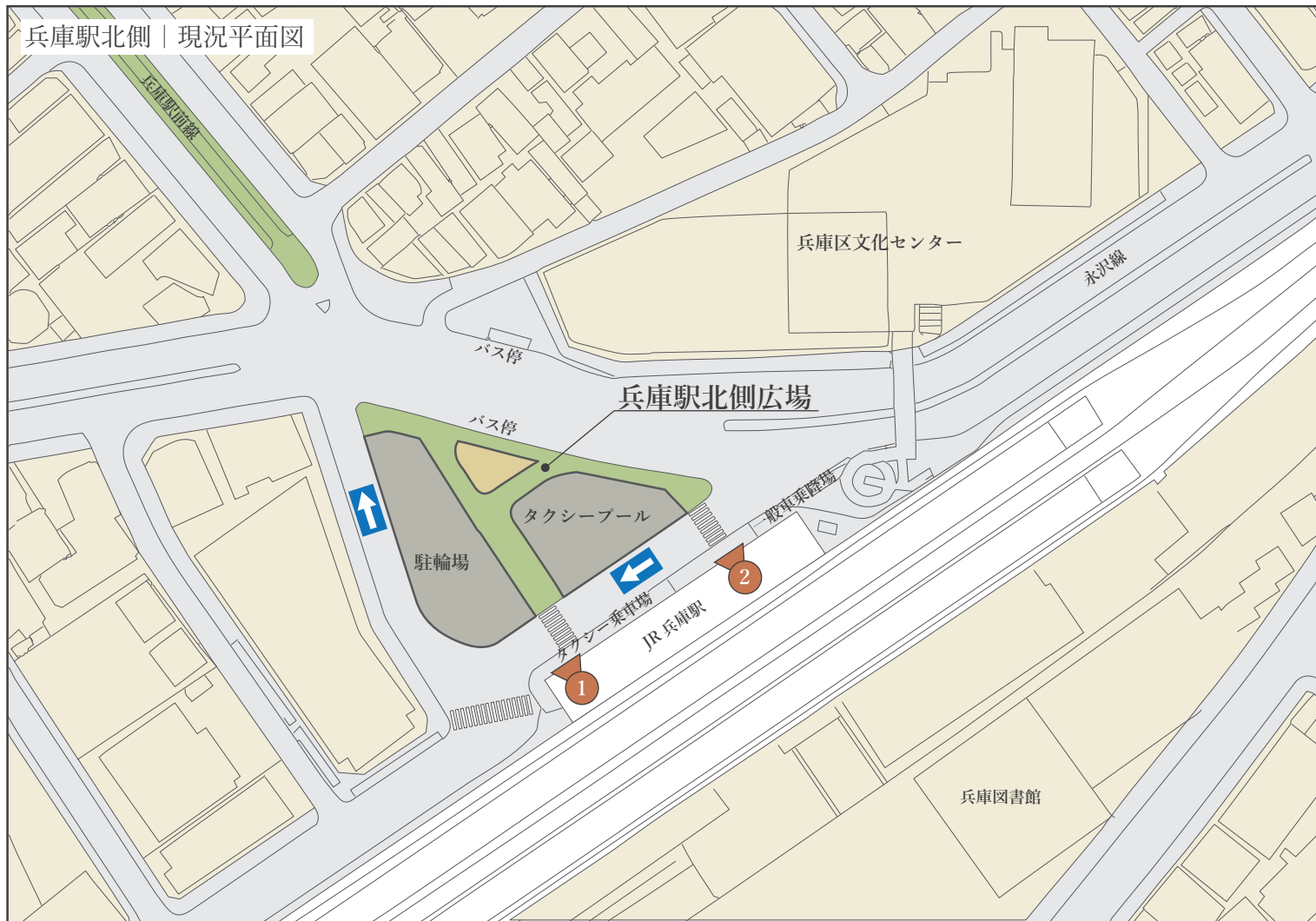


02 交通安全の課題

北側駅舎の目の前に道路があり、道路を渡らないと、公共交通機関に乗り継ぎができず、街に出ることができない



兵庫駅北側 | 現況平面図



再整備の検討

課題解決に向けて

このような状況に対し神戸市では、令和元年度からまちの質・暮らしの質を一層高めることで、都市ブランドの向上と人口誘引につなげるプロジェクト「リノベーション・神戸」をスタートし、兵庫駅を対象駅の一つとして位置づけました。

兵庫駅北側広場が地域の「顔」となる中心拠点として、老若男女問わず、駅利用者や市民から親しまれる空間となることを目指し、再整備を進めます。

整備コンセプト



歴史性

昭和5年に完成した現・兵庫駅舎をはじめ、西国街道や兵庫の津といった歴史資産をキーワードとした、北側広場にふさわしい広場デザイン



一体性

植栽による緑陰や憩いを感じられる、兵庫の顔となる景観の形成
会下山を背景とした、地域のシンボルである兵庫駅前線の眺望との調和・連続性のある広場デザイン



快適性

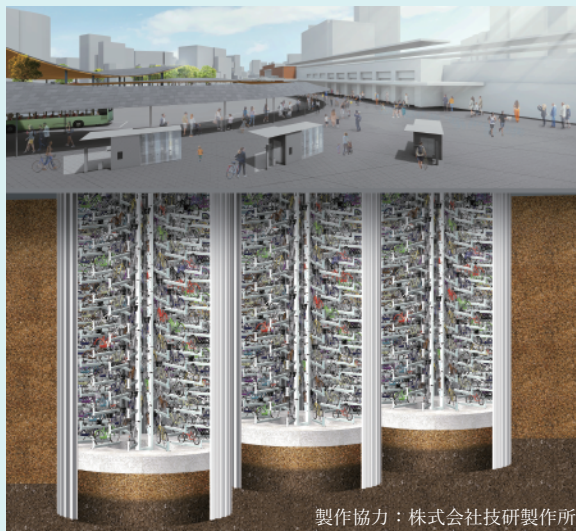
近年の異常高温にも配慮した、人が滞在しやすい広場デザイン
昼間は緑陰による憩いの場を創出、夜間は照明により明るく、安心に滞在できる空間デザイン



01 駐輪場のリニューアル

広場の大部分を占める自転車駐輪場を地下タワー式駐輪場としてリニューアルします。

地下タワー式駐輪場は簡単な操作かつ短時間で自動的に入出庫することが可能であるため、利用者の利便性が向上します。また、自転車を収納している地下空間には人が立ち入ることができないため盗難の恐れがなく、安心してご利用いただけます。



JR 神戸駅前広場に整備予定の地下タワー式駐輪場のイメージ
製作協力：株式会社技研製作所

02 ロータリー・一般車乗降場の新設

交通安全上の課題を解決するために、駅前の道路を廃止し、新たなロータリーを整備します。

ロータリーにはタクシーの乗降場だけでなく、身障者用の乗降スペース、一般車両の乗降スペースを設け、駅へのアクセス性の向上を図ります。

03 駅前広場のリニューアル

公共空間の利活用や景観の課題を解決するために、駅前広場をリニューアルします。

駐輪場の地下化や、駅前ロータリーの整備によって生み出された空間を、人のための空間として整備します。

04 兵庫駅前線のリニューアル

地域のシンボルである兵庫駅前線を、歩きやすく、居心地のよい空間として再編します。

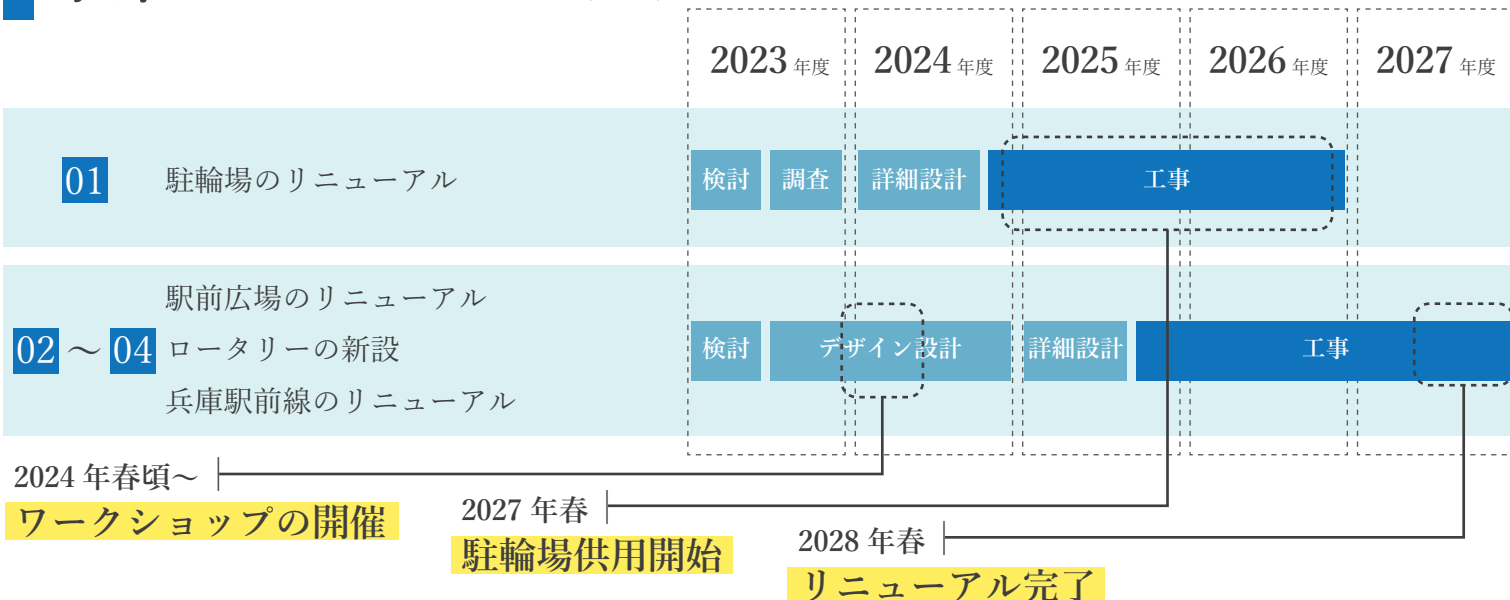
駅前広場と一体となった空間デザインとして、会下山と兵庫駅を結ぶ景観軸の形成を図ります。

今後の進め方

兵庫駅北側広場及び兵庫駅前線の緑道部分のデザインや整備内容については、地域の皆さまがどのように空間を利活用していきたいか、意見を聞きながら設計を進めてまいります。

具体的には、地域の皆さまや若い世代を対象としたワークショップを開催し、皆さまのご意見を反映しながら設計を進めてまいりますので、ぜひご参加ください。

事業スケジュール (予定)



※今後の検討、設計の進捗により工程が前後する可能性があります